

□ ラオス国国道 16B セコン橋建設プロジェクト

1 外観



2 橋梁等諸元

発注者：独立行政法人 国際協力機構、ラオス国政府

架橋位置：ラオス国セコン県

橋長：L=300.0m

有効幅員：B=11.0m

上部工形式：PC4 径間連続箱桁橋（主橋梁区間 PC3 径間連続エクストラード形式）

下部工形式：逆T式橋台2基 小判型橋脚3基

基礎工形式：杭基礎2基 直接基礎3基

プロジェクト期間：調査設計 2013年3月～2014年12月（基本及び詳細設計）

施工監理 2014年8月～2018年3月

3 概要

セコン橋は、ベトナムからタイを結ぶラオス南部を横断する国道 16B 号上の橋長 300mの渡河部にエクストラード形式を採用したPC4径間連続箱桁橋である。本プロジェクトは、雨期に発生するセコン川の増水によるアクセスの分断を解消し、ラオス南部地域の社会インフラへのアクセスや円滑な物流による経済活動の改善を目的としている。本橋梁は、ベトナム方面からのセコン市への玄関口にふさわしいゲート性とモニュメンタル性を兼ね備えたデザインを採用している。当社では、橋梁計画詳細計画及び施工監理業務を実施し、セコン橋は2018年3月に竣工した。

